～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名　主要門脈浸潤を伴う肝細胞癌に対するレンバチニブと肝動注化学療法の併用治療について』
研究機関名　　東邦大学医療センター大森病院
研究責任者　　消化器内科　　職位・氏名　助教・向津　隆規

【試料・情報の利用目的】
取得した試料・情報は、主要門脈浸潤を伴う肝細胞癌に対するレンバチニブと肝動注化学療法の併用療法が有用であることを明らかにすることを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、肝細胞癌の治療の進歩につながります。

【他機関への提供】
他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】
情報：病歴、診療の治療歴、採血データ、造影 CT 検査、造影腹部超音波検査　等
研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】
2025 年 2 月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】
東邦大学医療センター大森病院　　病院長　酒井　謙

【試料・情報の取得方法】
対象者：2019 年 4 月～2024 年 3 月までに東邦大学医療センター大森病院消化器内科において、①主要門脈浸潤を伴う肝細胞癌に対するレンバチニブを投与後に肝動注化学療法を施行した 18 例と、②主要門脈浸潤を伴う肝細胞癌に対してアテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用療法を行った 20 例の合計 38 症例を対象とします。
方　法：診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

【研究組織】
代表施設名：東邦大学医療センター大森病院　　研究代表者：向津　隆規　　役職：助教

【利用する者の範囲】
東邦大学医療センター大森病院　消化器内科　　向津　隆規

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】
東邦大学医療センター大森病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025 年 1 月 31 日までに（過去に採取した既存試料を利用する場合）下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】　東邦大学医療センター大森病院　消化器内科
職位・氏名　助教・向津　隆規
電話　03-3762-4151　内線　6858